



年頭所感

一般財団法人北海道開発協会会長

町野和夫

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催された大阪・関西万博では、北海道からも多くの自治体や企業・団体が出展し、北海道が有する世界に誇る自然や観光資源、食、文化を活かした取組を紹介するなど、北海道の魅力を世界に向けて発信しました。また、世界の熱い視線が注がれた東京2025世界陸上では、最高峰の舞台で夢の実現に向けて自らの限界に挑むどさんこアスリートの姿が深い感動と勇気をもたらしてくれました。

北海道では、インバウンドの需要回復に加え、次世代半導体製造拠点や日本最大級のAIデータセンターの整備、洋上風力発電の展開といったDX・GX関連産業の集積が進むなど、北海道経済の大きな牽引役となりうる動きも見られます。北海道がそのポテンシャルを活かしてさらに価値を高め、我が国の経済社会づくりの先導的な役割を担っていくことが期待されます。

政府は、令和6年3月に閣議決定した第9期北海道総合開発計画に基づき、北海道の強みを活かした食・観光の一層の強化、カーボンニュートラルの実現、経

済安全保障に資するデジタル産業の集積促進など、我が国が抱える課題解決に貢献するとともに、北海道の強みを生み出す生産空間の維持・発展にも資する取組を推進しています。

北海道開発協会としましても、新たな時代の要請を踏まえた北海道開発の推進に寄与するべく、産学官民と連携しながら地域活性化に資する調査研究、広報活動、研修会の開催などを積極的に実施してまいります。

調査研究では、北海道の各地域が、以上に述べたような豊かな可能性を有する一方で、人口減少が進む中での課題にも直面しているとの認識の下、生活に必要なサービスの維持・確保を図り、その地域の持続性を高めていくための方策を、多様な観点から検討してまいります。また、各地において地域活性化のための活動に熱意をもって意欲的に取り組んでおられる市民団体などの皆さまを、積極的にご支援していきたいとも考えております。これらの成果については、本誌「開発こうほう」でも分かりやすく紹介していきます。

結びに、新しい年が皆さまにおかれましても希望の年となることを祈念しまして、新年のご挨拶といたします。